

**論点整理②「今後の都市政策の方向」**

これまでの小委員会での議論から、以下のような今後の都市政策の方向に関する問題意識を整理。他にどのような都市政策の方向性が考えられるか。

**問題意識 1**

- これまでの拡散型のまちづくりにより、中心部の空洞化、高齢者の移動困難、環境負荷の増大、都市財政の圧迫などの問題が発生しており、諸機能の集積、公共交通によるアクセシビリティの確保等によるくらしやすい持続可能な都市を実現することが必要。

→ 持続可能な集約型都市構造

**問題意識 2**

- 宅地開発や道路等の施設整備などの「量」の確保に追われていた時代とは違い、人口減少時代にはまちづくりにもゆとりがでてくる。これを好機ととらえ、これまでのストックを活かしつつ、安全や美しさを追求する、ゆとりあるまちづくりを進めることが必要。

→ 安全なまちづくり、美しいまちづくり

**問題意識 3**

- モータリゼーションの進展により、市街地周辺部の農村地域等に都市的開発等が無秩序に拡散。都市と農村を一体的にとらえる必要性。
- 人口減少、都市の縮退という状況の下、都市内農地に対して、都市的な開発圧力が低下する一方で、消費地近接の利点を生かした農業生産機能としての評価や、自然とのふれあい、憩いの場、防災機能等の都市住民の農地に対する多様なニーズが顕在化。

→ 都市と農村・農業の融合

**問題意識 4**

- 地球環境問題の深刻化している中、単体として対策には限界があり、今後は、都市全体のシステムとして、温室効果ガス削減や循環型社会形成を図ることが重要。さらには、生物多様性の確保を含む自然共生が求められている。

→ 環境低負荷型都市

#### 問題意識 5

- 人口減少等により、市街地の縮退は避けられない。特に大都市郊外で大きな問題となる可能性。さらには、都市の施設・サービスの維持管理・更新が困難。

→ 都市経営的観点からの市街地や都市施設・都市機能のマネジメント

#### 問題意識 6

- グローバル化が進展する中、国際的な都市間競争に勝ち抜くためには、成長のエンジンとなる都市については強みを伸ばす都市政策が必要。特に東京圏は我が国全体の成長の原資であることから特別な対応が必要。

→ 都市の国際競争力の強化

#### 問題意識 7

- アジアは自然的、歴史的な特性から都市問題についても共通の課題があるほか、近年、我が国はアジアとの関係が深化していることから、我が国は自らの都市問題の課題解決方法を模範として示し、連携を深めることが必要。

→ 都市の国際間連携の強化

#### 問題意識 8

- 市町村合併により広域化した行政においては、市町村より小さなレベルの地域経営が課題。コミュニティレベルの自治組織の重要性。

→ コミュニティレベルの対応

#### 問題意識 9

- 一方、都市の現実的な課題の中には、都市計画区域や市町村の区域を越えた広域的な課題も多く存在することから、課題に応じた適切な役割分担や透明性の高い相互調整の手続きが必要。特に周辺都市との役割分担を前提とする広域的な調整の仕組みが必要。

→ 広域的レベルの対応